



TOHOKU
UNIVERSITY

東北大学災害科学国際研究所

第29回東北大学災害科学研究拠点セミナー
第42回「災害と健康」学際研究推進セミナー
第9回ヒューマンレジリエンス重点研究領域セミナー

Biologist meets Disaster Psychiatry

現代社会において広く用いられる"ストレス"という言葉は、元々物理学の用語であり、ハンス・セリエによってヒトや動物が外部環境の刺激に対して示す反応として再定義されました。一般的には心理的影響として捉えられていますが、生態学では生態系全体、細胞生物学では細胞レベルで、例えば小胞体ストレス、DNA損傷ストレス、熱ショックストレスといった形で広がっています。

精神医学においては疾患の発症には遺伝的要因と環境的要因が複雑に絡み合っているとされています。特に災害精神医学の分野では、環境的要因の影響が重要視されます。しかし、環境的要因の探求は遺伝学的研究と疫学的研究の狭間にあるという難しさがあります。そこで環境的要因は生体に作用してストレス応答を引き起こす、という点から環境的要因を評価できるのではないかと考えました。

私のこれまでの細胞生物学研究について"ストレス"という観点から振り返ることは、災害精神医学への応用において重要な鍵となると考えています。本セミナーでは私のこれまでの研究をストレスの観点から整理し、今後の研究の方向性についてご説明したいと思います。



東北大学災害科学国際研究所
災害医学研究部門
災害精神医学分野 特任助教

日野 瑞城 先生

1996年広島大学理学部生物学科動物学専攻卒業。1998年同大学院生物科学専攻博士課程前期修了。2003年同大学院生物科学専攻博士課程後期修了。その後群馬大学、福島県立医科大学に勤務。研究分野は災害精神医学、生物学的精神医学、生化学、細胞生物学

2024年2月22日 (木)
16:30~17:30

WEB 開催
(ZOOM)

本セミナーは医学系研究科系統講義コース科目等の授業として振替可能です

お申し込み・お問い合わせ

東北大学災害科学国際研究所
「災害と健康」プロジェクトユニット
<http://www.irides-pudh.med.tohoku.ac.jp>



指定国立大
災害科学 世界トップレベル研究拠点